

平成27年度地区懇談会 語らえるまちへ

4月16日から5月21日にかけて市内18カ所で地区懇談会を開催し、のべ915人の参加がありました。皆さんからいただいた市政へのたくさんのご意見やご要望を抜粋して紹介します。

■掲載にあたり、発言の一部を誌面に書き直しています
■参加者の写真は、掲載している質問内容とは一致しません

清藤真司市長



Q 市が進めている「人生支援」は内容が大きすぎて少し分かりにくい。私たちに何をしてくれるのか。



A 人の人生の中には、それぞれのステージがあります。幼年期、就学期、成年期、壮年期、老年期があり、その時々で、「もう少し行政からこんな支援がないか」ということを施策にし、実行していくことが目的です。すべての市民を対象に、その時々に必要な支援をするための施策となります。子どもから高齢者までの世代でどんなことができるかを考えていきます。

まちづくり



Q まちづくり協議会や自治会の設立は良いことだが人が集まらない。どのような活動をしていいのかわからない。

A 町内会や自治会・まちづくり協議会がまとまって行うまちづくり事業を支援する取り組みを香南市全域に広げていきたいという考えを進めています。人集めに苦労している地区もあるようですが、香我美町が先進的に行っている取り組みなど、他の地区の活動を見て参考にさせていただきたいと思えます。まず、地区活動を行ってみたいというのも良いのではない

すべての会場で、意見交換に先立ち、これからのまちづくりの中心となる5つの重点施策(住民自治の確立、地震・津波対策、産業の振興、人生支援、社会基盤の整備)と、学校における土曜日等授業の開催など、市の取り組みを説明しました。



防災



Q 公民館など避難所となっている建物の耐震チェックはできているか。

Q 避難タワーの1基あたりの建設費用は。また、建設エリアは国や県からの指示か。

A 規模により異なりますが、1基あたり1億〜2億円程度です。建設するエリアについては、津波の想定されている高さや津波ワークシヨップでの意見を参考に市が決めています。(関連記事30ページ)

Q 橋の耐震化の現状と計画を教えてください。

Q 災害時の避難所への誘導案内の標示はないのか。

A 例え、赤い線をたどれば避難タワーにたどり着くなど、香南市だけでなく、県内で統一された標識や表示があればよいと考えます。県でも協議していますので、意見を伝えていきます。

A 市内には2メートル以上の橋が370以上あり、沿岸部から耐震工事を行っています。今年度は赤岡町・吉川町で3橋を工事する計画です。来年度は赤岡町・夜須町の橋を工事する予定です。



Q 香宗川にごみなどの不法投棄があり景観が劣悪なため環境美化についての啓発は何かならないか。

Q 不法投棄や分別していないごみを他地区のごみステーションに捨てる人がいる。監視カメラなどの設置をお願いできないか。

A 不法投棄の多い所には監視カメラを設置しています。ごみステーションへのカメラの設置は今後検討していきたいと思えます。

A 不法投棄を注意する看板を環境対策課で町内会や自治会に渡しています。香宗川だけでなく、不法投棄の状況について現場もその都度確認していますので、より効果的な不法投棄防止の対策を練っていきます。

環境



Q 市民の生きがいづくりなど順序、項目をあげるとは簡単だが、具体的に市民の生涯学習で、何がどのようにされるのか。

A 生涯学習推進計画で、12の施策を掲げて実行しようと考えています。その中で「生きがいを得る学習機会の充実」ということで「市民ニーズを踏まえた講座の実施」、「市民の経験知識等の伝承促進」、「高齢者の支援」を推進していきます。具体的には、担当部署において、実施内容を検討していきます。



Q 子育てについて相談できる場所とか支援する場所をもっと増やせないか。

A 子育ての相談の場として、現在「子育て支援センター」を市内各町ごとに設けています。今後、新たな施設を増やすよう、対応していくことを考えています。詳しくはこども課(☎57-7522)までお問い合わせください。